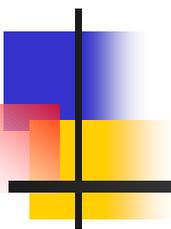


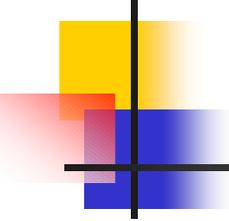
## KSPによる最近の館山局と三浦局の位置変動



## 今回の地殻変動現象への対応

---

第六研究チーム  
吉野泰造



# 地震調査研究関係組織とCRL活動状況(通常)

---

科技庁:地震調査研究推進本部

(郵政省として本部員、委員を登録)

建設省国土地理院:地震予知連絡会

(3ヶ月ごとの連絡会定期会合で現状を報告)

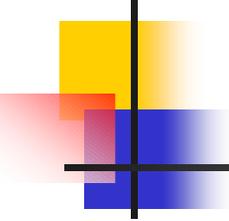
気象庁:CRLへの依頼によりデータを提供中

<計画機能>

文部省:測地学審議会(委員:所長)

地震火山部会 地震予知特別委員会(委員を登録)





## 内部的な作業

---

- 7/21 VLBI解析ソフトの再点検
  - 7/22 2日毎から毎日の連続観測体制に移行
  - 7/24 館山局にて局地的原因、機器に起因する問題が無いことの現地確認
  - 8/1 WWW公開サイトのデータ表示を改修  
(短期間データ表示方法改善)
- \* 撤収時期見直し

## 外部との情報連絡

### ■ 科技庁・地震調査委員会

第73回～第76回でKSPデータ活用

房総半島まで影響が及んでいることの証拠、伊豆大島や房総半島南端の地殻変動の停滞傾向の判断材料

■ 気象庁地震火山部地震予知情報課 注意喚起と集中観測体制移行の連絡。

■ 国土地理院 地理地殻活動研究センターとGPS観測網の状況等情報交換

■ 地震予知連絡会 KSPのデータを紹介

○ 防災科研 地震調査研究センター

「新島～神津島間の海底下に貫入する岩脈の成長を示唆。現象の総合的な判断に有効」

○ 名大・地震火山観測研究センター「圧力源のパラメータ推定に役立つ」

○ 宇宙測地の国際的メーリングリスト(sggmail)へ現象の紹介

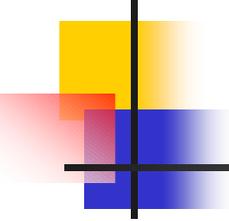
R.Bilham(コロラド大)、A.Niell(Haystack)、O.Sovers(元JPL)、G.Beutler(ベルン大)、S.Crampin(エジンバラ大: 関連論文到着)、L.Petrov(GSFC/NASA)等からの反応

○ 測地研連(日本学術会議)で観測継続を求める声

○ VLBI懇談会幹事会で現象を紹介し反響

★ NHKニュースで観測事実の紹介(9/22)

★ 朝日新聞記事(9/23)



# 対応

---

- 観測成果を国内外の学会で報告予定
- 顕著な地殻変動の流れをVLBI、GPS等で並行して捉えた世界的に初めてのケースであり、余効変動を含めたできるだけ完全なデータを取得するため三浦・館山の撤収時期を調整中